鳥取ふれあい共生ホーム

照陽（てるひ）の家だより

平成31年 3月15日
〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
ＴＥＬ　0859-21-8151

～新しい春へ～

日ごとに暖かさが増し、時折感じる春めいた風に訪れを感じます。子どもたちの成長を追ううちに気が付けば、もう年度末。別れと新たな出会いの春を迎えようとしています。今年は、雪が少なく大人にとっては雪かきや出勤ラッシュなど助かる事はありましたが、子どもたちにとっては、大好きな雪遊びが出来ず、物足りなさを感じたように思います。しかし雪が降らなかった分、散歩に多く出かけることができ、わんこ公園やふれあいの里へ行き、おもいっきり体を動かして楽しむ事ができました。今は、修了式の練習をがんばっています。おじぎをして一人で歩く。お別れの言葉を言ってから歌をうたうなど・・入園時は泣いて登園していたとは思えないくらいに成長し、私たちも感慨深いものがあります。振り返れば昨年4月の入園時、「子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され地域から愛される保育所を目指す」と米子市地域型小規模保育ひなたぼっこ保育園の理念を胸に保育士一同、この理念達成に全力を挙げて参りました。この一年を通して多くの皆様にお世話になりご指導を頂きました事、心から御礼申し上げます。ご存じのように子どもを取り巻く環境は連日、メディアで見聞きする厳しいものがあります。しかし、この小さな命が「人」を信じ、「人」を愛する事が出来るように沢山の体験や共生ホームの人々の関わりを通じて豊かな人間性を持った心の基盤が備わるよう次年度も努力していきたいと思います。今年度も残り半月、お別れ遠足や修了式など、まだまだイベントが目白押しです。子どもたちがわくわく期待を抱きながら1年を終了できるよう続いてご協力を宜しくお願い致します。　　ひなたぼっこ保育園　職員一同

子供たちと触れ合い

お絵かき

駄菓子屋

パズル

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。

照陽の家の日常とひなたぼっこ保育園

ひな祭りに細川三斎流師範にお手前を披露して頂き、子供たちは行儀よくお抹茶を頂きました。

お抹茶にがいな～！

美味しいお抹茶でした。

ひな祭り

照陽の家には訪問看護ステーション ハートケアがあります。
訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し、看護ケアを提供し、療養生活を支援するサービスです。

作業療法士のリハビリメモ

作業療法士　岡野元明

「DAYS　BLG！町田」 認知症に対する考え方

2月27日に東京の町田市にあるデイサービス「DAYS　BLG！町田」を見学させて頂きました。ここでは認知症の方に選択肢を多くもってもらい自分たちのやりたいことを大事にされているデイサービスです。そのため一日の活動もメンバー自身が決定されています。その中でもDAYS BLG！では大手自動車会社ホンダの洗車を活動の1つとして取り入れています。まずはホンダの社員が着用しているジャケットを着て送迎車に乗り込みます。現地に着くと私語なくメンバーが率先して洗車をされているのがとても印象的でした。スタッフによると「自分たちはホンダのジャケットを着て仕事をしているから私語をしているとホンダのイメージを悪くしてしまう」とメンバーから話をされていたそうです。また、そんなメンバーの頑張りが地域の目に止まり、店舗前の保険会社からハンコ押しの依頼があったり、別店舗からも洗車依頼があったりとしたそうです。認知症の方がプライドや生きがいを持って仕事をされ、活躍の場を広げれることに改めて気づかされました。実際にDAYS BLG！のように活躍の場を広げられる環境を作っていくことは簡単ではありません。しかし、この経験を無駄にせず日頃の仕事に小さなことから落とし込んでいくことが必要だと感じました。まずは目の前におられる利用者さんには何が出来るのか、どんな支援があれば出来るのか業務に追われず考えていくことから始めていきたいと思います。

今月の 言葉　この世に起こる　全てのことが　君に何かを　教えようとしている
～葉　祥明～